

議案第66号関係資料

令和8年5月18日提出

大 崎 市

# 案

## 年度協定書（令和8年度）

大崎市を甲（以下「甲」という。）とし、東日本旅客鉄道株式会社を乙（以下「乙」という。）として締結した東北本線田尻・瀬峰間貝ノ堀こ線橋耐震補強補修工事（以下「工事」という。）の基本協定書第5条に基づき、年度協定を締結する。

### （工事の工程）

第1条 工事の工程は別紙「工事工程表」のとおりとする。

- 2 令和8年度年度協定は、令和8年度をもって完了するものとし、令和8年度を超えた工事工程表の延伸は行わないものとする

### （工事の内容及び施行区分）

第2条 工事は、次の区分により施行するものとする。

乙施行：甲施設補修工事、乙施設支障改修工事（別紙「工事費概算額調書（計画予算）」の工事種別）

- 2 前項の内容を変更する必要がある場合は、甲乙協議するものとする。
- 3 甲は、鉄道施設に近接して施行する場合は、あらかじめ乙と協議するものとする。

### （工事の費用及び負担）

第3条 工事の施行に要する費用は、別紙「工事費概算額調書（計画予算）」のとおりとして、甲が全額負担するものとする。

### （工事完了の確認、工事費の支払い及び精算）

第4条 乙は工事完了後、速やかに工事費の精算額を通知し、請負契約ならびに工事の出来形・しゅん功に関する透明性確保の資料を甲へ提出するものとし、甲は提出物を受領した後、速やかに完了の確認を行うものとする。なお、精算額が第3条の工事費を下回ったときは、精算のための協定変更は行わないものとする。

- 2 管理費は、協定締結時における計画予算の工事費及び工事付帯に対する割合により精算するものとする。ただし、工事費や工期等が著しく変更となる場合は、この割合を変更するものとする。
- 3 甲は、精算時の別紙「工事費資金計画書」に基づき、乙の経理責任者（東日本旅客鉄道株式会社）が発行する支払請求書により支払うものとする。

### （その他）

第5条 この協定に定めのない事項又は、疑義を生じた事項については、その都度甲・乙協議して処理するものとする。

以上、協定の証として、この年度協定書2通を作成し、甲・乙押印のうえ、各自1通を保有するものとする。

年 月 日

甲 大崎市長 中島 源陽

乙 東日本旅客鉄道株式会社  
執行役員東北本部長 高岡 崇



# 工事費概算額調書(計画予算)

件名: 東北本線田尻・瀬峰間貝ノ堀二線橋耐震補強補修工事

(金額単位:円)

項目	工事種別			協定額	記事	
		単位	数量	令和8(2026)年度 金額		
総額				192,009,003		
道 路 施 設	道路施設設計			159,231,423		
	受託工事費	(工+管+税)		159,231,423		
	土木工事費	(工+管)		144,755,838		
	土木	(工)		137,766,700		
		仮設工	式	1	38,780,000	
		耐震補強工	式	1	6,600,000	
		耐震補強工(A1、A2)	式	1	50,000,000	
		橋りょう補修工	式	1	0	
		保安費	式	1	42,386,700	
		管理費	式	1	6,989,138	
		一般管理費			5,510,668	管理費率 4%
		間接仮設費			1,478,470	
		消費税及び 地方消費税等	式	1	14,475,585	10%
	鉄 道 施 設	鉄道施設設計	(負+補)		32,777,580	
負担金工事		(建)		11,615,288		
工事費				10,754,896		
		電力支障移転・復旧	式	1	754,896	
		信通支障移転・復旧	式	1	10,000,000	
		管理費	式	1	860,392	管理費率 8%
		補償金工事	(修+撤)		21,162,292	
		修繕費			17,576,000	
		工事費			16,900,000	
		のり面工撤去復旧	式	1	16,900,000	
		管理費	式	1	676,000	管理費率 4%
		撤去費			3,586,292	
		工事費			3,320,640	
		電力支障移転・復旧	式	1	1,320,640	
	信通支障移転・復旧	式	1	2,000,000		
	管理費	式	1	265,652	管理費率 8%	

工事費概算額調書について

注1) 施工時の労務単価及び資材等の価格増減等により変更となる場合があります。

注2) 運転手続き及び施工箇所詳細調査によって、変更となる場合があります。

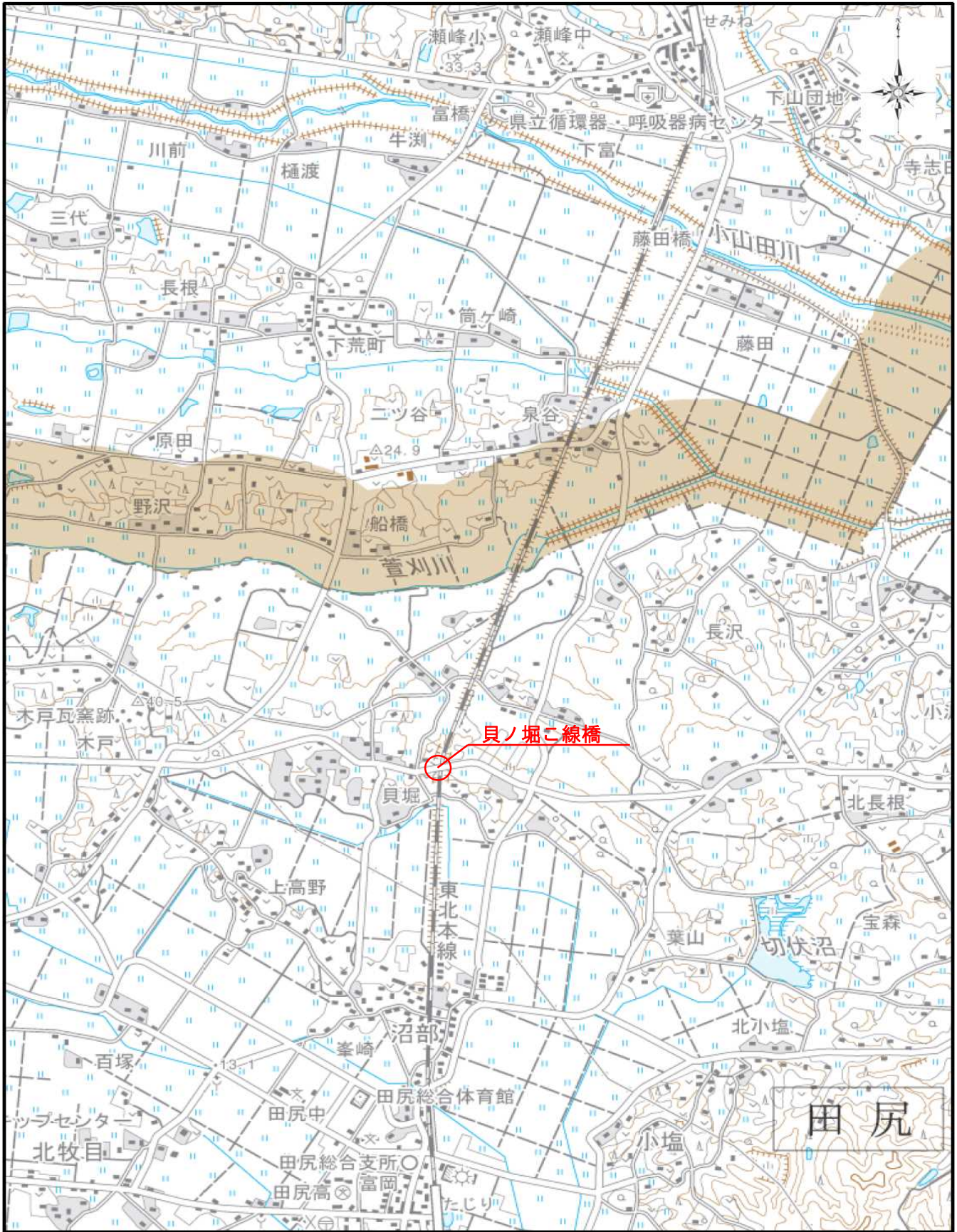
## 工事費資金計画書

件名：東北本線田尻・瀬峰間貝ノ堀こ線橋耐震補強補修工事

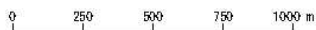
(金額単位：円)

項目	金額	収納期限	記事欄
第一回目	192,009,003	令和8年度精算時	
合計	192,009,003	—	

# 位置図



**大崎市役所**  
北海道地図株式会社仙台支店

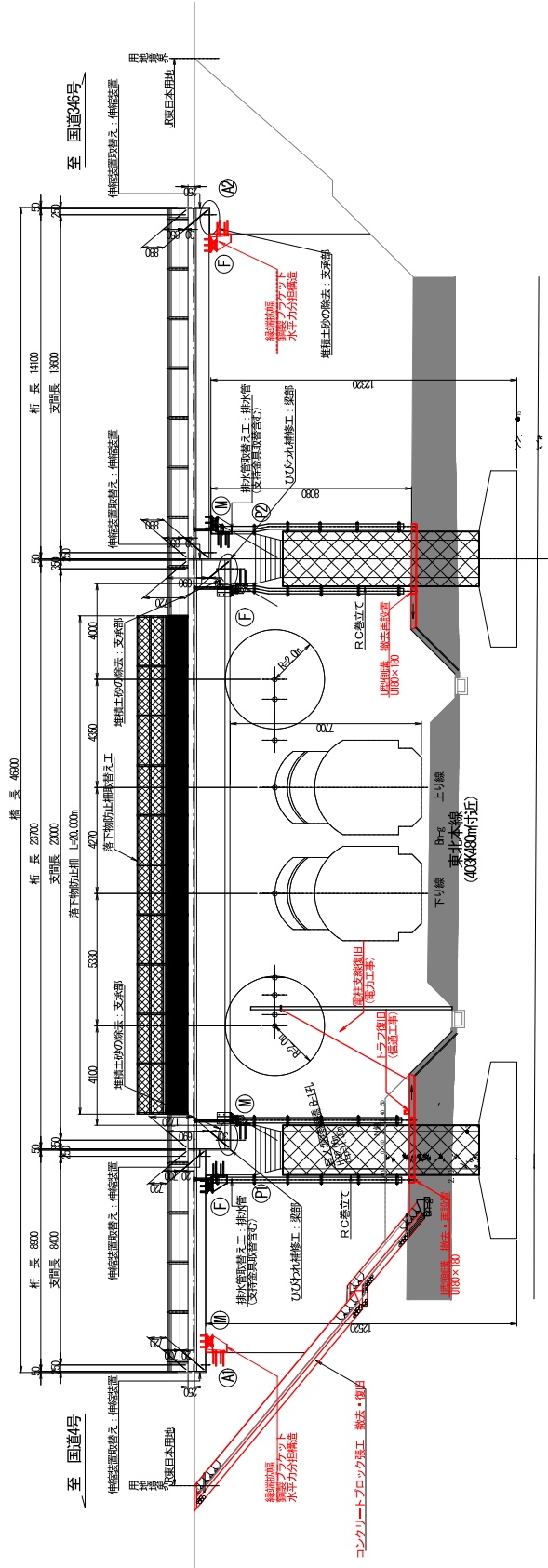


1:25000

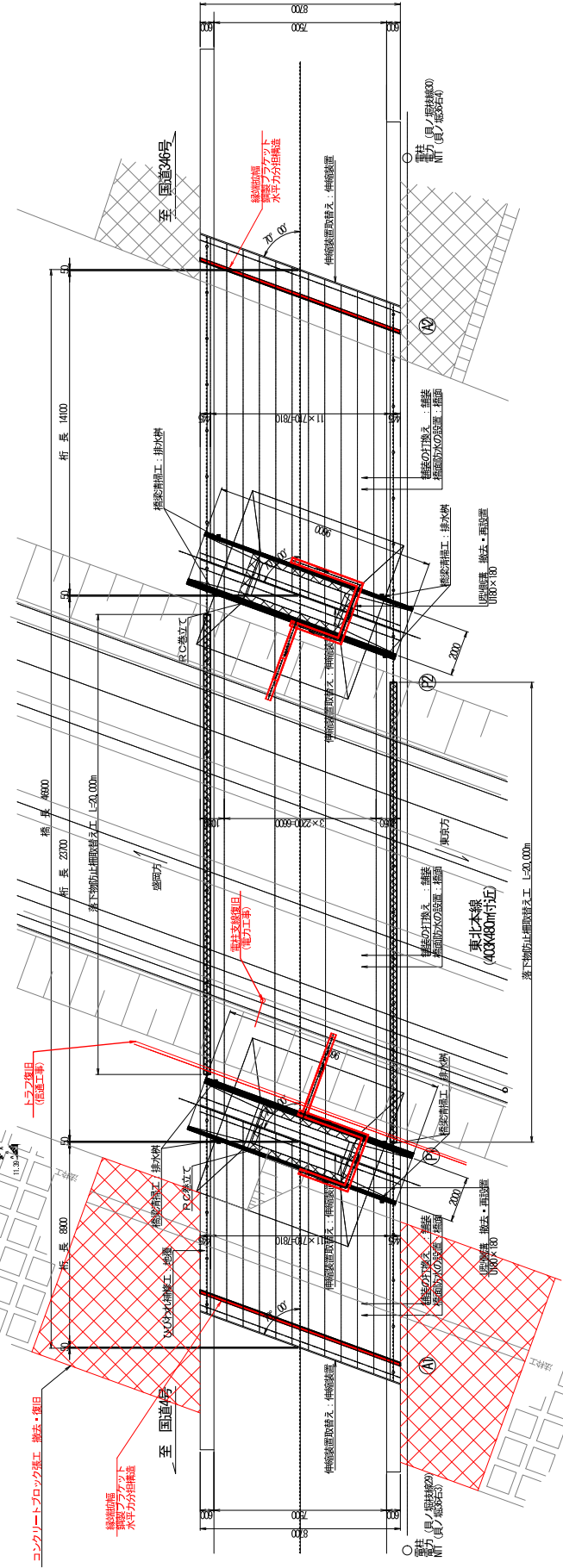
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び25万分の1地形図を使用したものである。(承認番号 平17総保、第10-95号)

# 貝ノ堀跨線橋 補修・補強一般図 (その1)

側面図 S-1:100



平面図 S-1:100



注記  
 1 本図面の取捨線は寸法等は取捨図面および取捨線より優先し上図面である。  
 2 断念を行うことは、事前に取捨線を行い、断念を行うこと。

工事番号	仙土設 2023 第 16 号
工事名	東北本線田原・瀬峰間 貝ノ堀跨線橋震害補修工事
図面名称	構修・補強一般図 (その1)
図面番号	1 葉の内 1
契約責任者	監修員
	設計者
東日本旅客鉄道株式会社 仙土土木設備技術センター	

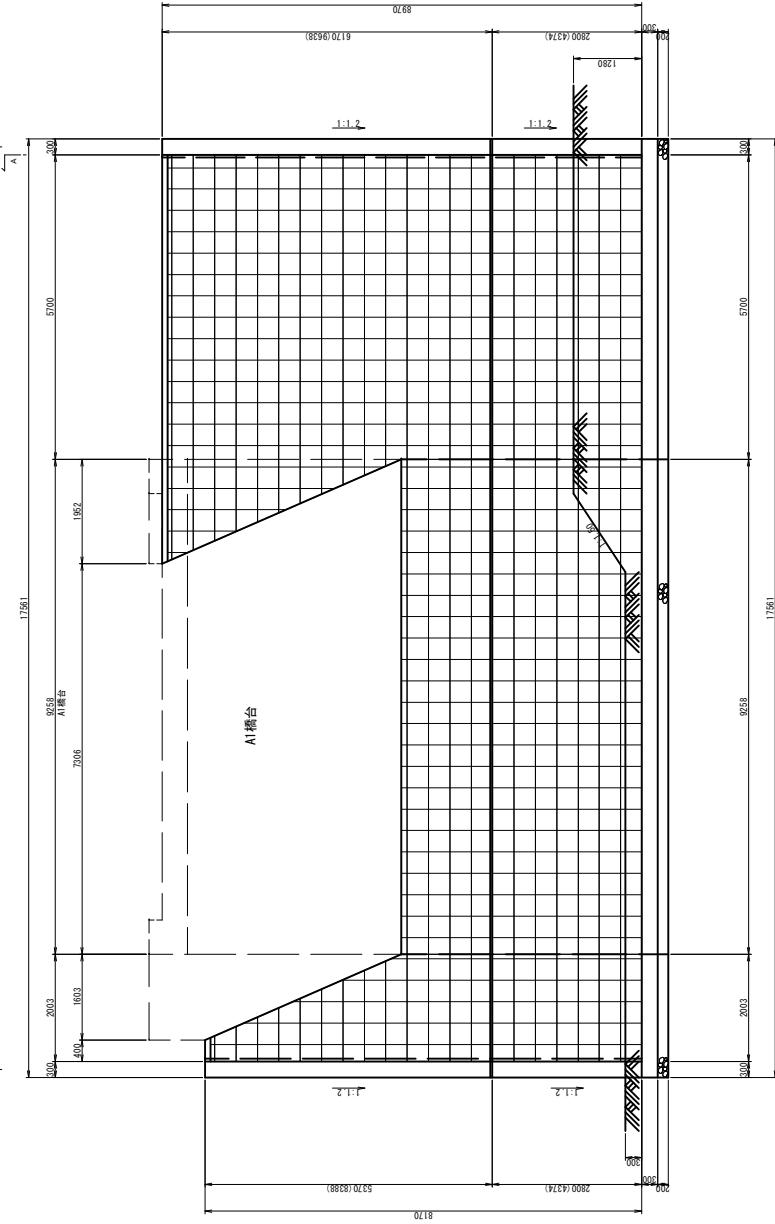




# 貝ノ堀跨線橋 コンクリートブロック張工詳細図

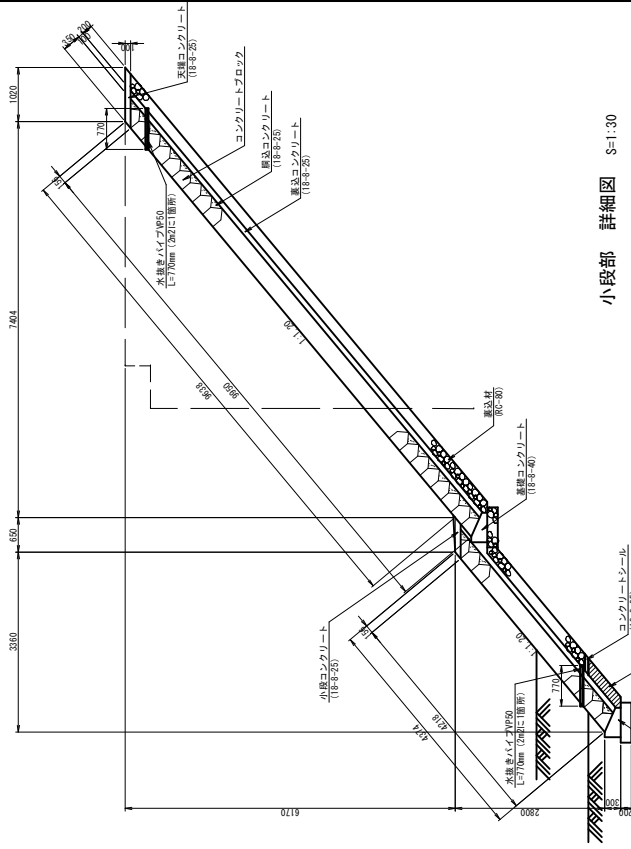
## コンクリートブロック張工 正面図 S=1:50

注) 1. ---は、伸縮目地 (t=10mm) を示す。  
2. ( ) 内数値は、3次元を示す。

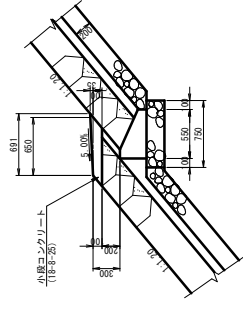


## コンクリートブロック張工 断面図 S=1:30

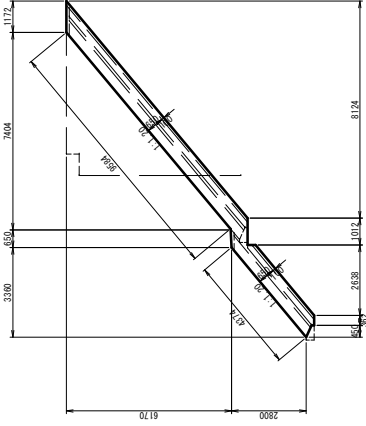
A-A



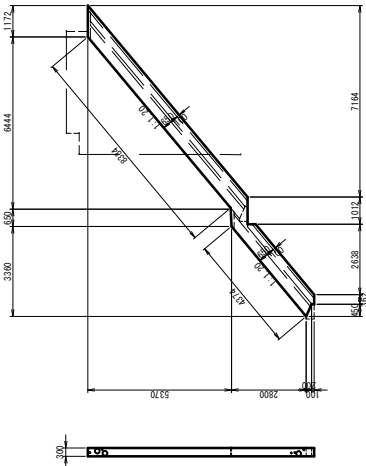
## 小段部 詳細図 S=1:30



## 小口止めコンクリート② S=1:100



## 小口止めコンクリート① S=1:100



### 基礎コンクリート 材料表

種別	仕様	数量	単位	積算
コンクリート	18-8-40	1.20	m <sup>3</sup>	
鉄筋	t=200mm	4.00	m <sup>2</sup>	
基礎材	t=200mm	7.50	m <sup>2</sup>	
高麗正		7.50	m <sup>2</sup>	

### 小口止めコンクリート② 材料表

種別	仕様	数量	単位	積算
コンクリート	18-8-40	3.32	m <sup>3</sup>	
鉄筋		22.12	m <sup>2</sup>	

### 小口止めコンクリート① 材料表

種別	仕様	数量	単位	積算
コンクリート	18-8-40	3.04	m <sup>3</sup>	
鉄筋		20.26	m <sup>2</sup>	

注) 1. 本図面の積算数量の積算方法は既設図書および  
設計図書より選定した図面による。  
2. 所定を行うこと。

工事番号	名称	数量	単位	積算
	基礎コンクリート			
	小口止めコンクリート①			
	小口止めコンクリート②			